

令和6年度の自己点検・自己評価
に対する学校関係者評価報告書

学校法人 赤門学院
専門学校 赤門自動車整備大学校

第 10 回 学校関係者評価報告書

設置者	学校法人 赤門学院																						
学校名	専門学校 赤門自動車整備大学校																						
会議名	第 10 回 学校関係者評価委員会																						
開催日時	令和 7 年 2 月 27 日 (木) 15:00 ~ 16:00																						
場所	宮城県仙台市青葉区川内川前丁 61 専門学校赤門自動車整備大学校 3 階会議室																						
出席者	<p>< 学校関係者評価委員 ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">阿部勝自動車工業株式会社</td> <td style="width: 50%;">代表取締役社長 阿部 勝敏 様</td> </tr> <tr> <td>宮城スバル自動車株式会社</td> <td>営業部 日の出店 サービス課課長 兼 営業支援統括部 技術支援課担当 課長 柴田 真太郎 様</td> </tr> </table> <p>< 学校事務局 ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td style="width: 50%;">理事長・校長 國分 活妙</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>教頭 佐藤 信也</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>広報・学生部 若生 千晶</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>事務長 早坂 義之</td> </tr> </table> <p>※出席者：6名 欠席者：なし</p> <p>< その他 ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td style="width: 50%;">副理事長・副校長 國分 龍人</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>1・2 級科教務指導長 上田 忠之</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>2 級科教務指導長 皆川 幸正</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>事務室職員 宍戸 茂樹</td> </tr> </table> <p>欠席者：なし</p>			阿部勝自動車工業株式会社	代表取締役社長 阿部 勝敏 様	宮城スバル自動車株式会社	営業部 日の出店 サービス課課長 兼 営業支援統括部 技術支援課担当 課長 柴田 真太郎 様	専門学校 赤門自動車整備大学校	理事長・校長 國分 活妙	専門学校 赤門自動車整備大学校	教頭 佐藤 信也	専門学校 赤門自動車整備大学校	広報・学生部 若生 千晶	専門学校 赤門自動車整備大学校	事務長 早坂 義之	専門学校 赤門自動車整備大学校	副理事長・副校長 國分 龍人	専門学校 赤門自動車整備大学校	1・2 級科教務指導長 上田 忠之	専門学校 赤門自動車整備大学校	2 級科教務指導長 皆川 幸正	専門学校 赤門自動車整備大学校	事務室職員 宍戸 茂樹
阿部勝自動車工業株式会社	代表取締役社長 阿部 勝敏 様																						
宮城スバル自動車株式会社	営業部 日の出店 サービス課課長 兼 営業支援統括部 技術支援課担当 課長 柴田 真太郎 様																						
専門学校 赤門自動車整備大学校	理事長・校長 國分 活妙																						
専門学校 赤門自動車整備大学校	教頭 佐藤 信也																						
専門学校 赤門自動車整備大学校	広報・学生部 若生 千晶																						
専門学校 赤門自動車整備大学校	事務長 早坂 義之																						
専門学校 赤門自動車整備大学校	副理事長・副校長 國分 龍人																						
専門学校 赤門自動車整備大学校	1・2 級科教務指導長 上田 忠之																						
専門学校 赤門自動車整備大学校	2 級科教務指導長 皆川 幸正																						
専門学校 赤門自動車整備大学校	事務室職員 宍戸 茂樹																						
会議内容	<p>< 次第 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会および理事長挨拶 2. 自己評価の結果について説明 3. 自己評価の結果について審議 4. 閉会 <p>< 説明 ></p> <p>(1) 教育理念・目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全体的に概ね良好と言える。 ● 学則より教育理念等の説明あり。 ● 留学生の教育方針を掲げた。(令和 3 年度より) ● 自動車整備士資格の改正が始まり、三級はすでに新しいカリキュラム、二級は今年度より実施。試験は 2 週間前倒しになる。 ● 研修会の実施。(教員) 																						

- 生活習慣の指導⇒職業人として教育をしていく。
- 日本語教育は課題あり。

(2) 学校運営

- 全体的に概ね良好と言える。
- 授業以外の業務負担…集中させない。
- システム化…パソコンの老朽化、OS の Windows10 は今年の 9 月でサポート終了となるため、パソコンの入替が必要になってくる。
- 効率化…仕事の割り振り。職員間（教員）の情報共有を進める。
- 情報公開…ホームページの活用。

(3) 教育活動

- カリキュラムのチェック、見直し。基準を設ける。時間管理の徹底。
- 教員不足の問題。⇒人材確保が必要とされる。

(4) 学習成果

- 就職率は 100%。（日本人・留学生）
- 求人数は増えている。
- 卒業生の状況把握。→情報をアップデートさせる。
- 日本人のコミュニケーションの能力を上げる。
- 留学生の日本語の語学力を付ける。→差が出ない教育の実施。

(5) 学生支援

- 学生の体調等管理の徹底。⇒校長までの報告を徹底させる。
- 学校以外の支援制度の問題もあるのではないか。

(6) 教育環境

- 建物・設備の経年劣化への対応。
- 新課程への対応。特に E V。⇒エンジン又はモーター。
- 計測器の入替を検討すべき。
- 実習車両、ミッション等の導入。
- 次年度より大学の設備の使用によるセミナーを検討する。
- 防災訓練の実施。
- 1 年生からのインターンシップの実施。
- 外部講師によるセミナーの実施。

(7) 学生受入募集

- 三級科の定員確保。
- 日本人学生の減少、留学生の増加が続いている。
- この傾向の長期化。→今どうするか考えなくてはならない。

(8) 財務

- 前年と同様、評価はほとんどの項目の評価がほぼ適切「3」であった。
- 令和 7 年 4 月より私立学校法改正⇒会計監査人との契約による業務指導体制の構築。
- 中長期的な計画の策定が必要。

(9) 法令等の遵守

- 評価内容はほとんど変わっていない。
- 個人情報の管理。…セキュリティシステムの構築。
- 自己評価の問題点を改善し、実施後の有効かどうか確認すべき。

(10) 社会貢献・地域貢献

- テストコース貸出の継続と各種イベントの実施。
- 職場体験や公開講座の実施。
- 一般の人にも食堂を開放したらどうか。
- ボランティア活動は継続的な活動はしていない。

<審議内容>

外部委員より

- 全体としての評価は、「3」のほぼ適切が多く概ね良好と判断できるのではないか。
- 人材が不足しているのは、日本の人口減少も関係している。
- さまざまな事例を適用しながら、対応することが求められているのではないか。
- インスタ等の活用も推進すべきではないか。
- 卒業生の把握⇒卒業後のフォローの検討。
(就職してから1~2ヶ月後に教員が企業に伺う。)
- カリキュラム…EVに関しては協力していきたい。
- ボランティア…震災の被災地でのタイヤ交換の実施。荒浜の防災林の植樹や草刈りを実施した。(現在も継続しているボランティアもある。)
- 食堂…一般への開放も検討すべきではないか。

校内委員より

- 現状、フォロワー数はなかなか増えていない。
- 情報システム化の評価が「2」ではないか。これは個人情報の問題にもつながることなので、早急に対応すべきである。
- グーグルマップも活用すべきである。

<その他>

スケジュールが厳しい中、皆様のご協力により無事に取りまとめることができました。感謝を申し上げます。昨年度と比較して、自己評価表に回答した教職員の評価点一部付け忘れ等は少なくなっており、改善が進んだ回答と判断しました。

今後の課題としては、引き続き自己評価表で記載されている「課題」を解決するために「今後の改善方策」をどの位実行できるかと考えております。改善が進んでいる項目もありますが、更なる改善が進むように努力をしていきたい。

以上